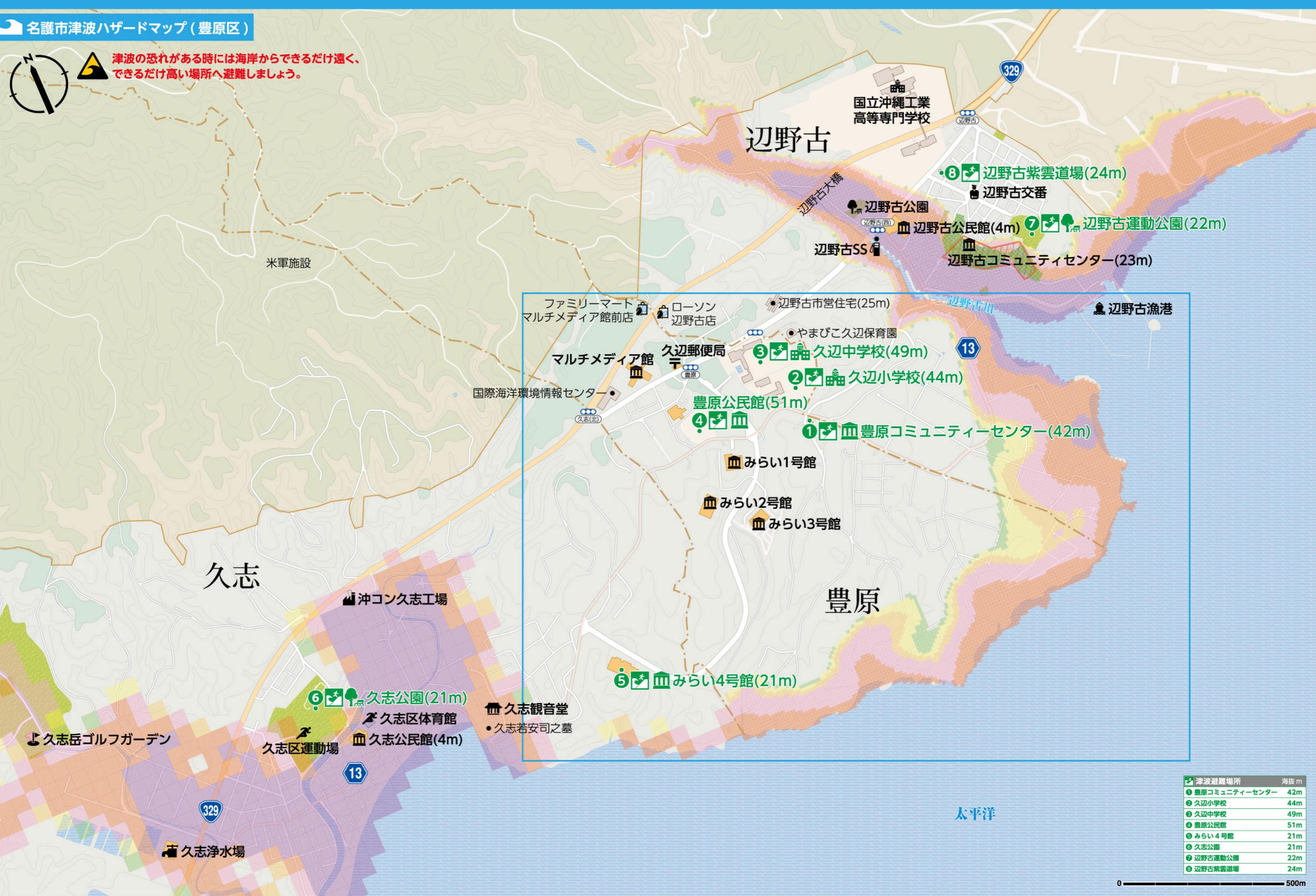


名護市津波ハザードマップ(豊原区)



津波の恐れがある時には海岸からできるだけ遠く、
できるだけ高い場所へ避難しましょう。



凡
例

津波避難場所 土砂災害危険箇所 土砂災害警戒区域 米軍施設 国道 県道 信号機 大字界
公共機関 交番・派出所 教育 郵便局 お買物 漁港 工場 净水場 運動場 大きな公園 歴史的建造物 GS ゴルフ

津波浸水深



ハザードマップの使い方

- ハザードマップの見方**
ハザードマップでは、津波浸水場所と水深予測を色分けして表示しています。浸水の目安は下記を参照してください。また、地図内に赤い枠で表記されているエリアは土砂災害危険箇所、緑色の枠で表記されているエリアは土砂災害警戒区域を示しています。現在お住まいの周辺で予測される災害状況を踏まえ、安全な避難場所までのルートの選定にご利用ください。
※高潮ハザードマップは浸水深の色分けが津波ハザードマップとは違いますのでご注意ください。
- 避難場所を確認しましょう**
それぞれ災害の種別を考え、悪天候時や、夜間の視界が悪いことを想定して家族全員で避難場所を確認してください。
- 避難ルートを地図に記入しましょう**
災害の種別による避難場所までの安全なルートを、背面の地図に記入しておきましょう。
- 避難時の持ち出し品をチェックしましょう**
避難時の持ち物チェックリストをもとに事前に準備しておきましょう。緊急時にすぐに持ち出せるように玄関付近など、保管場所も工夫してみましょう。

台風について

- 台風が接近したら、まずは家の補強**
補強する場所は、雨戸、窓ガラス、塀、物干し、アンテナ、看板など。接近までに時間がある場合は、防水シートや角材等も用意しましょう。
また、植木鉢は強風で倒れたり、飛ばされる恐れがあるので1ヶ所にまとめておくと安全です。
- 停電や断水に備え、備品のチェック**
飲料水、食料、簡単な医療品、下着、懐中電灯、ライター、ラジオは揃えてリュックに入れておきましょう。
- 非常備蓄品**

名護市役所 2015年3月

TEL:(0980)-53-1212 (内線 213)
FAX:(0980)-53-6210

eメールアドレス soumu@city.nago.okinawa.jp
ホームページ http://www.city.nago.okinawa.jp/
モバイルページ http://mobile.city.nago.okinawa.jp/

避難時の注意

いざ避難となった時に・・・

- できるだけ軽装で、はきなれた靴を着用しましょう。裸足や長靴は禁物です。
- 隣近所で助け合いながら避難しましょう。
- 一緒に避難する人とはぐれないように、特に子供から目を離さないようにしましょう。
- なるべく乗り物は使わず、歩徒で避難しましょう。

さらに大雨・台風の時は

- マンホールや側溝に注意し、杖などで水面下の安全を確認しながら歩きましょう。
- 強風で危険な物が飛んでくる恐れがあるので、ヘルメットや防災ズキン、厚手の帽子などをかぶるようになります。

地震について

- 落ちてしまい身の安全を確保する**
テーブルや机の下に身を隠すなどして、まずは自分の身の安全を確保してください。
- あわてず冷静に火を防ぐ**
使用中の火を素早く消しガスの元栓を閉めて下さい。もしも火災がおきたら隣近所に協力を呼びかけ、落ちてしまい消火にあたりましょう。
- 窓や戸を空けて出口を確保する**
地震の影響による建物のゆがみで戸や窓が開かなくなることがあるので慌てずに出口の確保を行いましょう。
- 慌てて外に飛び出さない**
落下物や建物、ブロック塀の倒壊などの危険があります。周囲の状況をよく確かめ、落ちてしまい行動しましょう。
- 停電後の通電火災を防ぐ**
- 避難は歩徒で荷物は最小限に**
- 地震による土砂災害、津波に注意**

津波について

- 地震の大きさで自己判断しない**
1896年の明治三陸沖震波では、沿岸での最大震度3程度と小さく避難した人が少なかったため、被害が拡大しています。この地震の津波遇上が最大で38.2mを記録しています。小さい揺れでも津波が押し寄せることがあります。
- 津波の前には必ず潮が引くとは限らない**
地震の発生の仕方によっては、いきなり大きな波が押し寄せることもあります。平成15年(2003年)十勝沖地震による津波や、2004年のスマトラ沖地震の際にスリランカやインドの沿岸に押し寄せた津波では、直前に潮が引くことなく大きな波が押し寄せました。
- 海岸の地形で津波の高さは変化します**
岬の先端やV字型の湾などの特殊な地形の場所では、波が集中するので、特に注意が必要です。津波は反射を繰り返すことで何回も押し寄せたり、複数の波が重なって著しく高い波となることもあります。後で来襲する津波のほうが高くなることもあります。

